

別記様式

会 議 録

会 議 名 称		令和 7 年度第 1 回 渋川市食品ロス削減推進協議会
開 催 日 時		令和 7 年 7 月 3 1 日（木） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 1 0 分
開 催 場 所		渋川市役所大会議室（本庁舎 3 階）
及び出席者		委員名簿のとおり
配 付 資 料		次第、名簿、資料 1、資料 2、資料 3 等（別添のとおり）
会 議 次 第		1 開会 2 委員委嘱式 3 あいさつ 4 議事 5 閉会
審 議 経 過 審 議 状 況	審 議 経 過	次第に沿って、委員の委嘱式、議事として（１）会長及び
		副会長の互選について、（２）食品ロス削減の推進に向けた
		取組について、（３）今年度の検討事項について、（４）報
		告事項について、事務局より説明及び報告を行い、情報共有
		を図った。
	結 論	・ 議事
		（１）会長及び副会長の互選について
		指名推薦により鳥山委員を会長に、会長一任により千明委
		員が副会長に決まった。
		（２）渋川市食品ロス削減の推進に向けた取組について
		取組に関する各委員からの意見（続紙のとおり）
		（３）今年度の検討事項について
		意見なし
		（４）報告事項について
		行政が実施するフードドライブは今後も続けてほしい。

発 言 者	発 言 内 容
	・市が取り組んでいることを市民にもっと周知できれば良いと思う。
	・しぶかわフードラブ協力店について知らなかった。各取組がつながっていることを市民に伝えることが必要だと思う。
	・飲食店を経営しているが、食べ残しが多い。食べ残しの持ち帰りを推奨するようなわかりやすいポスターがあると良いと思う。
	・たくさんの取組をしていることがわかった。
	・しぶかわフードラブ協力店に登録したいと思った。
	・自分では食べないもの、食べきれずに余ったもの等を渡し合えるシステムがあると良いと思う。
	・市が実施している取組は啓発等の意識レベルの人が多いと感じる。渋川市食品ロス削減推進計画の数字を達成するためのしくみづくり及び取組が必要。
	・フードバンクへの食料品の提供が去年は減った。特に、企業からいただくものが減った。しかし、食料を必要とする方は増えている（月60人位）。 ・一度に多くの食料品が提供されるとフードバンクだけでは、受け入れできなくなってしまうので、各団体等の中で渡し合えるしくみがあると良いと思う。
	・こども食堂を始めて6年くらい経ち、渋川こども食堂ネットワークの代表をしている。月1回お弁当スタイルにしたら食品ロスがゼロになった。こども食堂をやりたい方は増えている。
	・女性団体の集まりでは、もったいないの精神から持ち帰りできるように容器等を持参しているので食品ロスがない。飲食店で、「食べきりできたらコーヒー一杯無料」等のサービスがあれば、食べ残しが減ると思う。

・国や群馬県では、宴会等の時、残さず食べよう！３０（さんまる）・１０（いちまる）運動を呼びかけている。これは、「乾杯後の３０分は料理を楽しみ、お開き前の１０分は自分の席に戻って料理を楽しみましょう。」という呼びかけであり、食べきりを推奨している。